



一日体験学習

教頭 針谷 勉

一日体験学習は、中学生とその保護者に本校の教育上の特色や内容を理解してもらうために例年夏休みに実施している行事です。今年は8月4日に一日体験学習を実施しました。今年度も猛暑が予想されたため、冷房のある教室で実施しました。当日は、足利・佐野を中心とした27校から、中学生400名、保護者281名に参加していただきました。

全体会は新型コロナウイルス感染症対策のため、学校紹介DVDを放映しました。30分程度の短いものでしたが、本校が持つ総合学科、単位制という最大の特徴をはじめ、教育課程や進路状況の説明、国際理解教育の推進、部活動や学校行事、総合学科発表会について紹介することができました。その後、希望した中学生には英会話、科学実験、レジンボタン作り、団子作り、プログラミングなどの体験授業を受けていただきました。

中学生のアンケートには、学校・学科の教育上の特色や内容が「よく・だいたい理解できた」:99.8%、この一日体験学習が「大変参考になった」:89.7%という評価をもらいました。在校生達が、それぞれの立場で立派に行動したことが、中学生に好印象を与えたようです。



国際理解 LHR

国際理解教育係 小倉 麗華

10月31日、本校にて国際理解講演会が実施されました。講演会には、JICA栃木デスクから熊倉百合子様にお越しいただき「～SDGsをジブンゴトに～世界の現状とわたしたち」という演題でお話しいただきました。



講演では、独立行政法人国際協力機構(JICA)や青年海外協力隊が行う国際協力活動についてご自身の経験をもとにご紹介いただきました。また、世界共通の課題である食品ロスや教育などの現状をSDGsの視点から写真や表を用いて丁寧に説明いただきました。

SDGsとは地球上のすべての人が幸せになるための17の目標です。私たちが身近にある課題を「ジブンゴト」として捉え、行動することが目標の達成につながります。自分だからこそできることを探してみませんか。

修学旅行

2学年副主任 篠崎 早苗

修学旅行報告

9月27日より3泊4日の修学旅行を実施しました。コロナ渦の実施にあたり、出発前からの健康管理や実施中のコロナ対策など、多くの方の協力をいただきありがとうございます。改めて深く感謝申し上げます。生徒たちも多くの制限がある中、互いのために協力しあい、おかげさまで無事旅行を終えることができました。

事前学習で、学年主任より「楽しむばかりでなく、学びのある旅行にしてください。」とお話がありました。その通り、生徒たちは様々な場面で多くのことを感じ取ってきたようです。神戸では、地震災害を学び、防災と家族の大切さをかみしめました。夜にはクルーズティナーでマナーを学びつつ夜景を楽しみました。大阪ではUSJの造りやキャストさんの接客姿に感動を覚え、自由研修や選択研修では大阪の街の活気に圧倒されつつ、関西地方の伝統文化や歴史、自然に触れました。生徒アンケートや感想文からも生徒たちの学びと成長の姿がうかがえました。この経験を今後にも生かし、様々なことから学びとり、成長し続ける人になってほしいと願います。

修学旅行の思い出

2年4組 新井 翠月

修学旅行を通して様々なことを学ぶことができました。中学校の時は、コロナウィルスの影響で修学旅行が中止になってしまい、とても悔しい思いをしました。そのため、修学旅行に行くことが初めてだったので、とても楽しみにしていました。同時に関西方面に行くことや新幹線にのることなど、初めてのことが多く、不安な気持ちもありました。ですが、終わってみればそれらは杞憂にすぎず、楽しむことができました。

私が4日間の中で学べたことはたくさんあります。1日目の南京町では、神戸になぜ南京町ができたのかなど歴史を学ぶことができました。中華街の雰囲気味わうこともできました。「人と未来防災センター」では、阪神淡路大震災について学びました。被害の大きさや悲惨さは自分が想像していた以上でした。見ていなくてもとてもつらい気持ちになりました。いつあのような地震が起きてもおかしくない状況でどう防災・減災していくか、改めて考えることができました。このことを踏まえて、今後に生かせるように日頃から対策をしていこうと思いました。

2日目のUSJではマップを見ながら、友だちと協力し楽しむことができました。

3日目の自主研修では大阪に行きました。大阪の歴史や文化に直接触れることができました。駅や道などすべてが分からないことだらけでしたが、大阪の人たちの温かさに助けられました。

4日目の保津川下りでは、スリルを味わいながら保津川の歴史や京都の文化について楽しみながら学ぶことができました。

この4日間を通して、学校では体験できないようなことばかりを学ぶことができとても思い出に残りました。修学旅行に行けたことに感謝して学んだことをこれからに生かしていきたいと思いました。



スクールインターンシップ

1学年主任 後藤 千春

9月30日、1年次では「産業社会と人間」の授業の一環として本年度2回目のスクールインターンシップを実施しました。1回目は6月に栃木、群馬県内の近隣の上級学校で実施しましたが、今回は埼玉、東京方面まで足を伸ばして実施しました。

インターンシップ当日は、11のコースに分かれ上級学校を訪問し、施設見学や授業体験をさせていただきました。感染予防の対策で、在校生との交流は残念ながらできませんでしたが、実際に訪問し上級学校の雰囲気に触れたことで、生徒各自が自分の将来について、よりイメージを膨らませることができたと思います。訪問後は、各自タブレットを活用し体験してきたことをまとめました。

2回のインターンシップでの学びを活かして今後の進路学習に役立てていって欲しいと思います。



マラソン大会

体育科 戸田 夏希

11月10日(木)第4回足利南高校マラソン大会が開催されました。昨年度同様、11kmにコース変更をしたり、手指消毒をしたりと感染症対策を十分に取っながらの実施となりました。マラソン大会にはもってこいの青空のもと、生徒たちは思い思いのペースで元気に走ることができました。ゴール時には、多くの生徒の明るい笑顔が見られ、一人ひとりが達成感や充実感を味わうことができたことと思います。

【個人成績】

男子 完走者数:115名				女子 完走者数:286名			
順位	クラス	氏名	記録	順位	クラス	氏名	記録
1	2-2	町田 倭人	0:41:34	1	2-1	小林 音桜	0:49:27
2	2-3	石原 匠	0:42:33	2	1-1	柏瀬 愛梨	0:50:33
3	2-2	長島 想空	0:45:32	3	3-4	安田 麗奈	0:52:33
4	3-1	篠原 大知	0:45:59	4	1-4	福士 茉穂	0:54:16
5	2-4	赤坂 瞳磨	0:46:35	5	3-1	茂木 咲良	0:54:49
6	2-1	若林 拓摩	0:46:59	6	2-4	長 柚月	0:57:00
7	3-4	鏝 琉斗	0:47:29	7	3-3	田村 柚子	0:57:29
8	2-4	坂本 力紀	0:47:52	8	3-3	川村 莉菜	0:59:34
9	2-3	芳賀 大輝	0:48:46	9	3-4	安達 由姫	1:00:17
10	3-3	佐山 怜	0:48:55	10	3-3	渡邊 涼寧	1:01:02

【団体成績】

総合順位	クラス
1位	2年1組
2位	2年4組
3位	2年2組



2年1組 小林 音桜

【自分に勝つ】

私は今までマラソンという競技で1位を獲ったことがなく、自分に負けたといつも悔しい思いをしてきました。今回のマラソン大会では、自分のベストを尽くすことができました。序盤から中盤にかけて徐々にペースを上げ、自分の後ろを走っている人たちとの差を広げることを意識して走りました。何回もペースを落とそうと葛藤したけど、1位を獲るためにはここで落とすは抜かされてしまうという危機感を覚え、必死に走り続けて、何とか2位との差を広げることができました。後半は本当に自分との戦いで、いかにペースを継続できるかを考えて走りました。途中、いたちごっこのような状況があったり、男子に抜かされてしまったりしたけど、自分らしい良い走りのできたので良かったです。人生で初めてのマラソン大会1位なので、誇りを持ちたいです。

芸術鑑賞会

芸術科 渡邊 瑠美

11月11日、足利市民プラザにて芸術鑑賞会が行われました。足利市では毎年、市内の高校に通う生徒が同じ作品を鑑賞しています。今年度はばんだウインドオーケストラによる、吹奏楽曲を鑑賞しました。楽団のオリジナル作品や本格的な吹奏楽作品、聞いたことのある映画音楽などのプログラムを、様々なところに注目しながら楽しめたようです。鑑賞後の感想では、「日本らしさを表現するために、扇子を使って音を出していたことが印象に残った。」「楽器紹介で初めて知った楽器があり、さらに興味を持った。」「指揮者が曲に合わせて手の振り方を変えていて凄い。」などと述べられていました。生で演奏を聴き、吹奏楽の魅力を感じることでできる良い機会となったようなので、身近な芸術文化にもさらに関心を持ってもらいたいです。

活躍する足南生

～ウエイトリフティング部～

3年3組 西村 りみ

初めての全国大会に出場して



石川県金沢市にある医王山スポーツセンターで開催された令和4年度全国高等学校女子ウエイトリフティング競技会に出場することができました。3年生の最後に大きな大会に出場することができ、とても嬉しく思っています。当日は、この3年間先生や先輩方に教えて頂いたことを生かせるように心掛けて大会に臨みました。初めての舞台ということもあって緊張から思っていた結果は残すことができませんでした。しかし、大会までの過程で学んだことは私の思い出であり、良い経験となりました。これまで支えてくださった先生方をはじめ先輩、後輩達や保護者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

～フォーク部～

3年3組 山崎 紗恵

関東大会に参加して

暑さも盛りを過ぎ始めた8月24日、国立オリンピック青少年総合センターで行われた第1回高等学校軽音楽部コンテスト関東大会に栃木県の代表として2年生バンドAsterと3年生バンドunknownが出場しました。大会が始まると、沢山の驚異的な演奏に圧倒され、緊張感が高まりました。2バンドとも焦りを感じながらも全力で演奏を楽しみ、普段の成果を発揮することができました。この大会で得た課題点と向き合い、フォーク部の目標である「音楽で人の心を動かす」を達成できるように部活動全体で努力していきたいです。活動を支えてくださった保護者の方を初めとする多くの方にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



発行：栃木県立足利南高等学校 教務部広報係
 TEL：0284-72-3119(事務室) FAX：0284-73-2772
 TEL：0284-72-3118(職員室)

http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagaminami/nc2/index.php?action=pages_view_main

